





① 事業実施報告書詳細

学校名 上越市立高志小学校

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録(写真) | 対象者の反応 |
|-----|---|--|--|---|
| 30 | 正善寺川 関川 | 総合的な学習の時間 ・身近な川(正善寺川)を探検し課題を設定した。調査活動では、川の中での活動、川とかわる人との交流を通して、たくさんの発見や気づきを蓄積していった。 |  | ・繰り返し川とかわることで、課題がはっきりとしていった。課題が明確になると、情報収集の質が高まり、取材活動が活発になった。 |
| 3 | 音楽室 教室 | 総合的な学習の時間、 国語科 ・調べて分かったことや課題、正善寺川の未来について考えたことなどをマップに表すことにした。どのようなマップがよいか、学年全体や各学級で話し合った。 |  | ・どうしたら情報が伝わるか、情報の選択や見せ方の工夫、構成の工夫など、楽しくアイデアを出し合った。 |
| 4 | 教室 | 総合的な学習の時間 ・マップのアイデアを基に、マップを構想した。友達とチームを作り、担当する箇所について、原稿を書いた。 |  | ・正善寺川に生息する水生昆虫、植物、また、流域の歴史、お宝など、様々な観点でマップを構成した。見る人が分かりやすいようにと丁寧に作業する姿が見られた。 |
| 5 | 教室 音楽室 上正善寺 公民館 高田河川 国道事務所 | 国語科、 総合的な学習の時間 ・正善寺川探検でお世話になった方にマップを配布する計画を立てた。正善寺川の景観のよさ、未来にこうなってほしいという願いを言葉や歌などで伝えた。 |  | ・自分たちの調べたことがマップとなり感謝の気持ちと未来への思いを込めた発表ができた。相手の喜ぶ顔を見て、達成感を得ていた。 |

② 学習指導案

| | |
|----------------------|--|
| 単元名 (全42時間) | つなごう未来へ！私たちの正善寺川 |
| 学習のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・正善寺川に繰り返しかかわり、正善寺川の上流、中流、下流、関川の下流の自然、景観、地域のお宝、歴史を知り、正善寺川マップにまとめる。 ・正善寺川マップを配布することを通して、正善寺川やその流域のよさを多くの人に知ってもらおう。 |
| 学習内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 正善寺川探検をして、課題を設定取材や調査をする。 2 調べたことをもとに、正善寺川マップを作る。 3 正善寺川マップを地域の人に発表したり、配ったりする。 |
| 参考資料 準備品 実施場所等 | <ul style="list-style-type: none"> ・各地域の観光マップ ・正善寺川マップを下書きする用紙、デジタルカメラ、模造紙 ・正善寺川（上流、中流、下流）、関川下流、高志小学校教室 ・正善寺ダム、正善寺浄水場、上正善寺公民館、国土交通省高田河川国道事務所 |

学習の流れ

| 時間 | 学習活動 | 教師の指導 | 評価 |
|----|---|--|--|
| 30 | <ul style="list-style-type: none"> ○正善寺川を探検し、課題を設定する。 ○調査活動では、川の中での活動、川とかかわる人との交流を通して、たくさんの情報を収集する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラや記録用紙を準備し、情報を蓄積させる。 ・川の専門家に協力をあおぎ、取材や調査活動に協力していただく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定能力 ・課題解決能力 (活動の様子、シート) |
| 3 | ○調べて分かったことや課題、正善寺川の未来についてマップに表すために、どのようなマップがよいか、学年全体や各学級で話し合う。 | ・話し合いで身に付けたい力を児童に示し、質の高い活動になるようにする。 | ・話す、聞く力 (話し合い) |
| 4 | ○正善寺川マップを作る。 | ・集めた情報を見直しさせ、正確に書けるようにする。 | ・表現力 (マップの原稿) |
| 5 | ○正善寺川探検でお世話になった方にマップを配布する。 | ・マップを渡すときに、マップの説明や自分たちの思いも伝えさせる。 | ・表現力 (原稿、発表) |

<留意点>

- ・正善寺川マップ作りでは、一人が一役を担い、全員が参加、表現する作品になるようにする。

③ 実施内容について

| |
|--|
| <p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・対象となる正善寺川に繰り返しかわることを通して、児童の気付きを量から質へと転換させることができた。・学校近くの中流だけでなく、上流にも複数回足を運ぶことができた。下流調査では、専門家に事前学習会と現地での説明を依頼した。質の高い学びが実現できた。・課題追究活動では、一人一人のテーマ設定のあと、チームを編成して課題を明確にした。学級の枠をこえて、共同して調査、まとめの活動ができた。・成果物としての正善寺川マップを、お世話になった地域の方を訪問し、直接手渡すことで、達成感を味わわせることができた。 |
| <p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・正善寺川マップ作りでは、3学級で一つの作品を制作することになったが、チームや個人がどのように分担するか計画したり、実際に制作したものをどのように統合したりするかに苦労した。・また、マップに子どもらしさを出したいと考え、手書きのイラストを多く入れることにしたが、統一感を出すための指導に苦労した。 |
| <p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・正善寺川の調査、発表の活動では、課題を明確にして一貫した活動ができたため、その成果として、「ぼくは〇〇が詳しくなった」「〇〇のことは～さんがよく知っているよ」というように、一人一人が自信やこだわりをもつようになった。・マップ作りでは、児童のアイデアを生かすために、話し合いの場を設定した。相手意識や目的に対して最善の方法は何か、楽しみながらアイデアを出し合う様子が見られた。 |
| <p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・今まで知らなかった正善寺川の姿や歴史、川にかかわる人の思いを児童と一緒に学ぶことができた。児童がどのような体験を通して、何に気付いたり、疑問をもったりするのかを予想しながら活動を計画したが、児童の予想外の気付きに教師自身も多くのことを学ぶことができた。・他の教員も、題材である正善寺川を追究することを通して、地域を知り、また地域とつながることができた。自然環境だけでなく、そこで暮らしたり働いたりする人との交流が大切なことを実感した。 |
| <p>(5) 今後の課題と取組（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）</p> <ul style="list-style-type: none">・活動初期は、児童一人一人が課題を追究した。それを基にチームを編成することで、課題をより明確にしていくことができた。課題を収束する際に、課題の質の高いものとそうでないものを選別したが、児童の思いとのずれも多少生まれた。児童の思考に沿った丁寧な見取りや、それに応じた支援をしていくことが今後の課題である。今後は、限られた授業時数の中で、児童の思いを大切にかつ質の高い学びが保障できるように活動を構想していきたい。 |